



MSC認証漁業への移行プログラム (ITM)

MSC漁業認証の取得に向けて改善を行う漁業に対する
第三者審査機関による検証と支援

MSC (海洋管理協議会)

漁業によっては持続可能な取り組み（持続可能性）を目指すうえで、様々な課題に直面する場合があります。

MSC認証漁業への移行プログラム（ITM）は、より持続可能な漁業を目指す取り組みを支援します。漁業はこのプログラムを通じてMSCのツールや専門知識を利用することができ、認証取得への確かな近道となります。

このパンフレットでは、ITMプログラムの概要と、漁業がプログラムの対象となるために必要なステップを紹介します。

ITMプログラムの詳細（適用範囲の確認方法、プログラムへの参加方法など）については、[MSCジャパン](#)までお問い合わせください。



MSC漁業認証の取得を目指す漁業を支援

MSC漁業認証の取得を目指す漁業は、多くの場合、MSC漁業認証規格の要求事項を満たすために改善を行う必要があります。MSC認証の取得に向けて取り組む漁業からは、漁業改善プロジェクト（FIP）に参加することによって、必要な改善をより円滑に実施できたという声が多く寄せられています。

MSC認証漁業への移行プログラム (ITM)



FIPに参加している漁業は、[ITMプログラム](#)にも参加ができます。ITMプログラムは、MSC認証の取得を目指し、環境面の向上に取り組む漁業を支援することを目的としています。

ITMプログラムに参加するには、プログラムへの適格性および継続的な改善を、第三者に検証してもらう必要があります。すべての検証は、適合性評価機関と呼ばれる認定された第三者審査機関によって実施されます。



ITMプログラムに参加するメリットは？

ITMプログラムは、漁業がMSCの本審査に入り、最終的に認証を取得するまでの準備を支援するものです。MSC認証の取得には、漁業の評判を高め、新たな市場を開拓するなど、多くの利点があります。

ITMプログラムへの参加は、漁業によるMSC認証に向けた取り組みとその進捗状況をステークホルダーに実証する上で信頼性の高い方法です。

ITMプログラムの最新の要求事項に適合しているITM漁業はすべて、MSCの漁業検索サイト [Track a Fishery](#) (英語) に掲載されます。

ITMプログラムに参加すると、MSCの海洋管理基金の一つである、改善計画の実施を支援するための助成金に申請することができます。

そして何よりも、将来の世代に健全な海を残すための世界的な動きの一端を担うことになるのです。

なぜ、ITMプログラム終了後にMSC認証を取得すべきなのか？

漁業がITMプログラムに参加している期間は、その漁業はMSC認証を取得していないのでMSCエコラベルを使用することができません。MSC漁業認証規格の原則に従い、持続可能な漁業管理を行っていることを主張するためには、漁業認証を取得しなければなりません。

ITMプログラムへの参加方法は？

ITMプログラムは、MSC認証の取得を目指す漁業を対象としています。参加するには、5年以内にMSCの本審査に入る計画がなくはなりません。

また、以下の適格条件を満たす必要があります。

- [MSC漁業認証規格](#)¹に定められたMSCの適用範囲内の漁業であること。
- 近年MSCの予備審査を完了したか、有効なMSC審査報告書を有していること。
- 信頼できる改善計画（FIPのワークプランにあたるもの）を策定していること。

¹[MSC漁業認証プロセス](#) (英語) の規定に則して



Fisher pulling nets in Italy, © Istock

ITMプログラムに参加するための適格性と改善の進捗状況の検証方法は？

審査機関が、ITMプログラムに対する適格性を確認し、[ITMの要求事項とガイダンス](#)（英語）の規定に沿って継続的な進捗を検証しなければなりません。

- このために、漁業は審査機関と契約する必要があります。
- 認定機関（Assurance Services International）の認定を受けた審査機関の詳細については、[MSCジャパン](#)までお問い合わせください。

漁業の適格性が確認されると、審査機関はMSCにその旨を伝えます。審査機関は、定期的に漁業改善の進捗状況を確認し、予備審査や本審査で80点未満であった業績評価指標について、計画されている得点の達成に向けて順調に改善が進んでいるかを判断します。

進捗状況の検証には、審査機関が必要と考えた場合、現地視察やステークホルダーとの協議が行なわれることがあります。

漁業は、最長で5年間、ITMプログラムを実施することができます。必要な改善の内容によって、期間は短縮されることがあります。

漁業改善が予定より遅れた場合は？

進捗確認の際に、予定していた改善が2度続けて達成できていないと判断された場合、漁業はITMプログラムから撤退しなければなりません。

撤退の原因となった遅れを取り戻すことができれば、プログラムに再度参加することができますが、期限の延長は認められません。

ITMプログラムの内容は？

ITMプログラムには以下の段階があり、各段階で漁業が使用しなければならないツールがあります。

1

MSCの予備審査または本審査を受ける

- ・ 認定された審査機関によって実施または検証されなければなりません。
- ・ 過去3年以内に完了していなければなりません。

2

改善計画の策定

- ・ 5年以内にMSC漁業認証規格に照らした審査の合格を目指すための計画です。
- ・ 改善計画は審査機関によって検証されなければなりません。
- ・ 漁業は、改善の実施を調整するITMプロジェクトマネージャーを任命しなければなりません。

3

改善計画の実施と進捗状況の確認

- ・ 進捗状況は審査機関によって最長で5年間定期的に検証されます。
- ・ ITMプロジェクトマネージャーは、MSC漁業改善進捗管理表の得点の更新、得点変更の正当性、ITM進捗確認報告書用テンプレートを含む進捗の証拠を審査機関に提出します。

4

本審査への移行

- ・ 計画された得点の改善をすべて達成していること。
- ・ ITMプログラム終了後、3ヶ月以内に本審査に入ること。
- ・ MSCの本審査は、審査機関によって実施されます。

ITMツール

ITMプログラムの適格性基準を満たし、MSC認証の取得に必要となる進捗状況を把握するために、漁業が使用しなければならないMSCのツールを紹介します。

[ツールについて詳しくはこちらをご覧ください。](#)

ツール	概要
MSC予備審査報告書用テンプレート	<p>予備審査を受ける漁業は、MSC予備審査報告書用テンプレートを使用しなければなりません。</p> <p>予備審査は、漁業から提供された限られた情報に基づいてMSC漁業認証規格に対する仮審査を行ない、28（漁業認証規格第3.0版では25）の業績評価指標に対する漁業の現状得点を提供します。</p> <p>予備審査は、MSC認証取得への潜在的な課題を示すギャップ分析の役割も果たし、改善が必要な分野を特定する手助けとなります。</p>
MSC改善計画用テンプレート	<p>改善計画を策定するにあたって、漁業はこのテンプレートを使用します。これにより、ITMプログラムに参加する漁業の改善計画の質と一貫性が確保されます。</p> <p>改善計画は、MSCの業績評価指標に関連する漁業改善のスケジュールが詳細に記され、漁業の環境への取り組みにおけるギャップを埋めるためのものです。計画には、必要な資源、各改善の責任者、改善に見込まれる期間、進捗の確認方法などの詳細を含める必要があります。</p>
MSC漁業改善進捗管理表（BMT）	<p>BMTは、MSC漁業認証規格に照らし合わせ、特定の時点における漁業の進捗を評価するエクセルベースのツールです。これによって、漁業はFIPに参加している期間中、MSCのすべての業績評価指標に対する進捗状況を把握することができます。</p> <p>BMTでは、規格を満たすまでの漁業の進捗を反映するBMT指数を算出します。初期BMT指数は、MSCの予備審査の得点に基づいています。</p> <p>漁業は、予備審査と改善計画から得た情報を用いて、初期BMT指数と、ITM期間の各年の推定BMT得点を算出する必要があります。</p>
ITM進捗確認報告書用テンプレート	<p>ITM進捗確認報告書用テンプレートは、審査機関が漁業の進捗状況を検証するために必要な情報を詳細に記載したものです。このテンプレートは、ITMプログラムの要求事項とガイダンスに記載されている通りに、ITMプロジェクトマネージャーの協力を得て、審査機関が記入する必要があります。</p>



Blue Swimming crab vessel in Indonesia ©Felix Sugiarto

ITMプログラムへの参加を申請するには？

ITMプログラムに対する適格性基準を満たしており、参加に興味がある場合は、[MSCジャパン](#)にお問い合わせください。

MSCの助成金への申請

改善計画の検証を受けたITM漁業は、MSCの海洋管理基金の[ITMプログラム参加漁業を支援する基金](#)（英語）に申請をすることができます。これは、改善を実施するための費用や、進捗状況の検証に関連する費用にあてることができます。

助成金の授与は小規模漁業や開発途上国の漁業が優先されます。

この基金の申請手続きはITMの申請とは別になります。申請できるのは年間の限られた期間で、審査を受けなければなりません。

海洋管理基金の詳細については、[MSCジャパン](#)までお問い合わせください。

一般社団法人 **MSCジャパン**

〒103-0026
東京都中央区日本橋兜町9-15
兜町住信ビル3階
Tel: 03-5623-2845

詳しくは以下をご参照ください。

msc.org/jp/for-businesses-JP/fishery-JP
MSCJapan@msc.org

 @MSC_Japan

 /MSCJapan

 /mscjapan

© Marine Stewardship Council 2022

発行時における最新情報に基づいています。